

第二地銀協地銀の平成 20 年度中間決算の概要について

〔平成 20 年 12 月 18 日〕
〔(社)第二地方銀行協会〕

当協会では、会員行の平成 20 年度中間決算の概要を別添のとおり取りまとめました。

以 上

【本件に関するお問合せ先】

企画部：小室、常川、磯部

：03 - 3262 - 2470、2528、2534

平成20年度中間決算の概要について

平成20年12月18日
(社)第二地方銀行協会

会員行の平成20年度中間決算(単体)の概要は以下のとおり。

(注)計数は平成20年9月末時点の会員行45行ベース。

1. 損益概況(業務純益:1,087億円、経常利益:264億円、中間純利益:194億円)

平成20年度中間決算における業務純益は、国債等関係損益の悪化に加え、資金利益や役務取引等利益の減少、一般貸倒引当金繰入の増加もあり減益(前年同期比42.3%)となった。

経常利益は、個別貸倒引当金繰入等の与信費用の増加や株式等関係損益の悪化から赤字に転じ、これを受け中間純利益も赤字となった。

2. 業務純益の状況

(1) 資金利益(5,072億円、前年同期比218億円、4.1%)

資金利益は、前年同期比4.1%減少して5,072億円となった。

この内訳をみると、預貸金収支は、貸出金(平残)が増加したものの、預貸金粗利鞘の縮小から同2.3%減少して4,102億円となった。

また、有価証券利息配当金は、投信の配当収入の減少等から同8.3%減少して975億円となった。

(2) 役務取引等利益(380億円、前年同期比111億円、22.6%)

役務取引等利益は、保険窓販業務に係る手数料収入が増加したものの、相場環境の悪化のもとで投信窓販業務に係る手数料収入が減少したことを主因に前年同期比22.6%の減益となった。

(3) その他業務利益(370億円、前年同期比296億円の悪化)

その他業務利益は、国際的な金融市場の混乱の中で国債等関係損益が悪化したことから、370億円の損超と前年同期比296億円の損超幅拡大となった。

(4) 経費（3,809 億円、前年同期比 1 億円）

経費は、人件費、物件費とも前年同期並みに止まった。

3 . 不良債権処理の状況

不良債権処理額は、取引先企業の業況悪化等を背景に貸倒引当金繰入や貸出金償却が増加したことから、前年同期比 +64.4%増の 1,492 億円となった。

この間、金融再生法開示債権（破産更生等債権、危険債権、要管理債権）は、破産更生等債権を中心に平成 20 年 3 月末比 +7.8%増加して 2 兆 435 億円となり、同開示債権の総与信額に占める割合は同 +0.33%ポイント上昇して 4.67%となった。

4 . 臨時損益の状況（ 1,350 億円、前年同期比 752 億円の悪化）

臨時損益は、個別貸倒引当金繰入の増加や保有株式の減損処理等に伴う株式等関係損益の悪化から前年同期比 752 億円の悪化となった。

5 . 単体自己資本比率（9.24%）

単体自己資本比率は、リスク・アセットが減少したものの、有価証券の評価差損の増加や利益剰余金等の減少から平成 20 年 3 月末比 0.12%ポイント低下して 9.24%となった。また、Tier 比率は、同 0.21%ポイント低下して 6.98%となった。

6 . 預金・貸出金（未残）

(1) 預金（55 兆 6,280 億円）

預金（未残）は、前年同期末比 +4,146 億円、+0.8%増加して 55 兆 6,280 億円となった。種類別にみると、要求払預金が減少の一方、定期性預金は増加した。この間、外貨預金は為替円高を背景に大幅増加となった。

(2) 貸出金（43 兆 585 億円）

貸出金（未残）は、前年同期末比 +8,339 億円、+2.0%増加して 43 兆 585 億円となった。

以 上

(計数資料)

1. 損益の内訳

(単位：百万円、%)

	平成20年度 中間期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
業務純益	108,705	79,776	42.3
業務粗利益	508,299	62,669	11.0
資金利益	507,284	21,862	4.1
預貸金収支	410,238	9,866	2.3
有価証券利息配当金	97,584	8,869	8.3
役務取引等利益	38,091	11,151	22.6
その他業務利益	37,094	29,645	-
国債等債券関係損益	39,451	39,289	-
経費()	380,975	134	0.0
一般貸倒引当金繰入額()	18,602	17,256	1,282.0
臨時損益	135,052	75,293	-
個別貸倒引当金繰入額()	108,993	37,768	53.0
株式等関係損益	952	22,009	95.9
経常利益	26,488	154,997	-
特別損益	1,558	11,964	-
税引前中間純利益	28,049	166,966	-
法人税、住民税及び事業税()	32,569	28,514	46.7
法人税等調整額()	41,143	40,721	-
中間純利益	19,492	97,724	-

(注) 1. 計数は、平成20年9月末現在の全会員行45行ベースである。

2. 実質業務純益 = 業務純益 - 一般貸倒引当金繰入額

3. コア業務純益 = 実質業務純益 ± 国債等関係損益 (損超ならば加算、益超ならば減算)

4. 預貸金収支 = (貸付金利息 - 金融機関貸付金利息 + 手形割引料) - 預金利息

5. 国債等債券関係損益 = 国債等債券売却益 + 国債等債券償還益 - 国債等債券売却損 - 国債等債券償還損 - 国債等債券償却

6. 株式等関係損益 = 株式等売却益 - 株式等売却損 - 株式等償却

2. 平成20年度中間決算の増益・減益行の状況

(単位：行)

	業務純益	経常利益	中間純利益
増益行	9	8	8
減益行	36	37	37

3 . 経営諸指標

(単位 : %、%ポイント)

	平成20年度中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
貸出金利回 (A)	2.39	0.04	
有価証券利回	1.41	0.18	
資金運用利回 (B)	2.10	0.08	
預金債券等原価 (C)	1.70	0.02	
預金債券等利回	0.35	0.05	
預金利回	0.35	0.05	
譲渡性預金利回	0.62	0.09	
経費率	1.35	0.03	
人件費率	0.68	0.01	
物件費率	0.59	0.01	
税金率	0.07	0.01	
資金調達利回	0.38	0.04	
資金調達原価 (D)	1.72	0.02	
預貸金利鞘 (A-C)	0.69	0.06	
総資金利鞘 (B-D)	0.38	0.10	
預貸率 (未残)	75.79	0.87	
" (平残)	75.12	0.46	
預証率 (未残)	23.18	0.99	
" (平残)	24.42	0.28	
コア業純ROA	0.54	0.09	
コア業純ROE	11.42	2.02	
コア業務粗利益OHR	69.55	2.83	

- (注) 1. コア業純ROA = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益) × (365 / 183) / 総資産平残 × 100
 2. コア業純ROE = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益) × (365 / 183) / 純資産平残 × 100
 3. コア業務粗利益OHR = 経費 / (業務粗利益-国債等債券関係損益) × 100

4 . 経費の内訳

(単位 : 百万円、%)

	平成20年度 中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
経費	380,975	134	0.0
人件費	192,100	880	0.5
給与・報酬	120,399	1,856	1.6
賞与	29,828	2,157	6.7
物件費	167,470	216	0.1

5 . 不良債権処理額

(単位：百万円、%、%ポイント)

	平成20年度 中間期	前年同期比	
		増減額/変化幅	増減率
貸倒引当金繰入額	125,834	54,308	75.9
貸出金償却	18,328	3,368	22.5
その他不良債権処理額	5,010	910	22.2
合計 (A)	149,202	58,462	64.4

与信費用比率 (X)	0.69	0.26	
預貸金利鞘 (Y)	0.69	0.06	
(参考) 預貸金利鞘 - 与信費用比率 (Y-X)	0.00	0.32	

(注) 1 . 貸倒引当金繰入額 = 一般貸倒引当金繰入額 + 個別貸倒引当金繰入額 + 特定海外債権引当勘定繰入額 - 特別利益計上の取崩超過額

2 . 与信費用比率 = 不良債権処理額 × (365/183) / 貸出金(平残) × 100

6 . 臨時損益の内訳

(単位：百万円)

	平成20年度 中間期	前年同期比	
		増減額	
臨時損益	135,052	75,293	
個別貸倒引当金繰入額	108,993	37,768	
貸出金償却	18,328	3,368	
株式等関係損益	952	22,009	
株式等売買損益	28,657	3,406	
株式等償却	27,705	18,603	
その他の臨時損益	3,460	1,652	

7. 金融再生法開示債権

(単位：百万円、%、%ポイント)

		平成20年度		
		中間期末	平成20年3月末比 増減額/変化幅	平成20年3月末比 増減率
破産更生等債権		580,832	123,555	27.0
危険債権		1,020,565	15,032	1.5
要管理債権		442,191	9,048	2.1
開示債権	A	2,043,588	147,635	7.8
正常債権		41,667,158	26,232	0.1
総与信	B	43,711,433	122,031	0.3
金融再生法開示債権比率	A/B	4.67	0.33	

8. リスク管理債権

(単位：百万円、%、%ポイント)

		平成20年度		
		中間期末	平成20年3月末比 増減額/変化幅	平成20年3月末比 増減率
破綻先債権		260,733	102,055	64.3
延滞債権		1,318,617	37,747	2.9
3カ月以上延滞債権		14,399	4,795	49.9
貸出条件緩和債権		427,727	4,229	1.0
合計	(A)	2,021,537	148,828	7.9
貸出金	(B)	43,058,584	127,673	0.3
リスク管理債権比率	(A/B)	4.69	0.33	
貸倒引当金	(C)	704,383	26,316	3.9
特定債務者支援引当金	(D)	-	-	-
引当率	[(C+D)/A]	34.84	1.36	

9 . 単体自己資本比率

(単位 : 百万円、%、%ポイント)

		平成20年度 中間期末	平成20年3月末比 増減額/変化幅	平成20年3月末比 増減率
Tier	(A)	2,397,202	79,094	3.2
Tier	(B)	785,066	28,796	3.8
	うち負債性資本調達手段等	502,822	26,535	5.6
自己資本総額	(C) = (A + B)	3,182,294	50,298	1.6
控除項目	(D)	7,686	133	1.8
自己資本額	(E) = (C - D)	3,174,598	50,428	1.6
リスク・アセット合計	(F)	34,342,124	86,311	0.3
	うち資産(オン・バランス)項目	31,746,365	55,242	0.2
自己資本比率	(E/F)	9.24	0.12	
Tier 比率	(A/F)	6.98	0.21	

10. 主要勘定の内訳（未残）

（単位：百万円、％）

	平成20年度 中間期末	前年同期末比 増減額	前年同期末比 増減率
貸出金	43,058,584	833,988	2.0
有価証券	13,080,627	446,443	3.3
国債	6,278,875	135,603	2.1
地方債	727,760	75,173	11.5
社債	2,957,781	245,878	9.1
株式	980,588	360,467	26.9
外国証券	1,288,470	208,100	13.9
その他の証券	844,056	63,310	7.0
商品有価証券	17,391	1,617	8.5
金銭の信託	78,054	39,629	33.7
コールローン	1,307,186	225,210	14.7
運用勘定計	57,864,788	58,748	0.1
繰延税金資産	488,618	167,822	52.3
資産計	61,157,601	469,770	0.8
預金	55,628,023	414,628	0.8
譲渡性預金	782,672	31,069	4.1
コールマネー	336,320	307,746	1,077.0
調達勘定計	57,604,239	901,512	1.6
繰延税金負債	1,935	48,669	96.2
負債計	58,634,008	869,021	1.5
純資産計	2,523,573	399,251	13.7
負債及び純資産計	61,157,601	469,770	0.8

以上